

第4回みやぎ観光振興会議 気仙沼・本吉圏域会議

開催結果概要

委員からの主な意見

- 情報発信は、ホームページやブログなど一方的に発信するものより、相互にやり取りできるSNSの方が効果的
- ワークーションについては、地域の実情によって取り組み方が違うので、各地域の意見を十分に取り入れて進めてほしい。
- 各種支援策の実施に当たっては、その対象を、個人事業者、組合、団体など広くとって運用すべき
- 観光事業者の事業規模別の経営状況を把握し、施策展開に反映してほしい。
- 今後、統計を調査するに当たっては、「観光客」をいわゆる旅行者、ビジネス客、ワークーションなど目的別に区分したほうが良い。
- これまで実施された各種キャンペーンの効果や課題をしっかりと検証し、次の施策に活かすことが重要
- 「三陸沿岸道路ドライブマップ」作成に当たっては、観光協会や市町の意見を反映させてほしい。
- 交通アクセス改善の検討に当たっては、仙台と当圏域間だけではなく、圏域内の観光スポット間の接続交通の課題についても検討されることを望む。
- 県が事業を実施する際には、圏域内の事業者、観光協会、市町等と密接な情報交換を行い、しっかりと連携して取り組むことで相乗効果が生まれるのではないかと
- 各種事業は単発ではなく、継続して実施すべき
- 「せんだい・みやぎ絆の宿キャンペーン」や「仙台・宮城すずめのお宿キャンペーン」は今後も出来るだけ継続してほしい。